

ご意見	回答	担当課
<p>ねんりんピック、国民文化祭、高校総文など、大型イベントが目白押しなのですが、こうしたイベントの開催はどのように決められるのですか。</p> <p>上記イベントを無くせば、県の財政も楽になると思われますが、p.5で100～200億円の財源不足を憂いておいて、イベントに巨額の予算を費やす理由を教えてください。</p> <p>上記イベントは、ほんの一部の県民とイベント業者しか潤わないと思いますが、そのことについてどうお考えでしょうか。</p> <p>費用対効果、県民ニーズの把握など、検討項目と検討プロセス及び検討結果について教えてください。</p> <p>また、それぞれのイベントにかかる経費を教えてください。</p>	<p>本県は、これまで「岐阜県長期構想」及び「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」に基づき、我が国が直面する人口減少、少子高齢化に向き合い、いかに人を育て、地域の活力を向上させ、本県の未来を形作っていくか、に力を注いでまいりました。</p> <p>コロナ禍で様々な活動に制約が出ていたからこそ、本県が培ってきた地域力を再認識し、磨き上げ、県内外に発信していくべきであると考えており、ご指摘のイベントは、そのまたとない機会として誘致したものです。</p> <p>こうしたイベントの開催については、関係者や県民の皆さんが思いを一つにしてテーマに取り組むこと、そのテーマが県民の誇りとなること、それを起爆剤として様々な県の政策・施策が展開され県民に還元されることなど、様々な意義があると考えています。</p> <p>なお、それぞれの開催経費については、現時点で次のとおり見込んでおりますが、これまで本県に蓄積された全国規模の大会の開催ノウハウを活かしながら、効率化と負担の軽減を図っています。</p> <p>【ねんりんピック】※当初予算ベース 開催経費（2020大会延期前）1,461,950千円（H30～R2）</p> <p>【「清流の国ぎふ」文化祭2024】※当初予算ベース（R6は除く） 開催経費 263,196千円（R3～R5）</p> <p>【全国高等学校総合文化祭】※当初予算ベース（R6は除く） 開催経費 135,000千円（R2～R5）</p>	<p>ねんりんピック 推進事務局 文化祭総務企画課</p>
<p>イベント開催に費やすお金があるのなら、現在の社会情勢下においては、生活困窮者支援、子育て支援、医療支援、介護・福祉支援、エネルギー高騰対策、原材料高騰対策、資材高騰対策などに手を差し伸べることが県の仕事だと思いますが、こうした考え方は間違いでしょうか。</p> <p>イベントの方が優先順位が高いとは思えませんし、今ある支援策に上乘せしてでも、困っている方々を支援することが、県が本来すべきことではないでしょうか。県は、子供食堂やフードバンクを頼りに生活している家庭について、どのように考えているか教えてください。</p>	<p>ご意見のとおり、本県としても新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策に加え、来年度を始期とする次期「清流の国ぎふ」創生総合戦略（県政全般の方向性を描く県の総合計画）を踏まえた重要な政策課題については、積極的に対応していく必要があると考えています。（また、上記イベントにつきましても、その意義を踏まえ当該戦略に位置付けられており、上記のとおり対応していく必要があると考えています。）</p> <p>このため、持続可能な財政運営に十分意を用いながら、これらの政策課題に対応しているところです。</p> <p>令和4年度においては、国の制度に基づく生活福祉資金特例貸付や住民税非課税世帯等に対する10万円給付、県独自の支援として生活困窮者への食料品や生活必需品の提供、支援ニーズの増大したフードバンク団体等への活動費用の支援などを行っています。</p> <p>令和5年度においても、生活困窮者自立相談支援窓口において生活困窮者に寄り添った相談を行うとともに、国の動向を注視しながら、必要に応じて生活困窮者に対する支援を検討します。</p> <p>子ども食堂や学習支援の場等の子どもの居場所は、ひとり親家庭、困窮している子どもやその家庭の支援のために重要な場であると考えています。</p> <p>本県では、子ども食堂の立ち上げや運営を行う方へ市町村を通じた補助事業を実施しているほか、令和4年度から「岐阜県子ども居場所応援センター」を立ち上げ、支援を進めているところです。</p> <p>これらを通じて、より一層ひとり親家庭、困窮している子どもやその家庭への支援につながるよう取り組んでまいります。</p>	<p>地域福祉課 子ども家庭課</p>

ご意見	回答	担当課
<p>新県庁をはじめとして、新しい施設がいくつかできているが、本当に必要なのでしょうか。</p> <p>数十年後を考えた場合の活用方法や維持管理費なども考慮されているのでしょうか。</p> <p>多治見市や高山市のように、お荷物施設にならない方法を教えてください。</p> <p>一例として、関ヶ原古戦場記念館の建設費及び年間の維持管理費を教えてください。</p>	<p>施設の再整備等に際しては、「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づき、県行政の遂行や県民の安全・安心、利便性に支障をきたさないよう配慮した上で、利用状況やニーズ等様々な観点から検討し、拡充、縮小、転用、統合、廃止等により公共施設等の最適化に取り組んでいます。</p> <p>また、管理にあたっては、予防保全の考え方を取り入れ、計画的に維持保全等を実施していくとともに、光熱水費や委託料等の維持管理費の見直しにより、平均使用年数延長やライフサイクルコスト縮減などに取り組んでいます。</p> <p>【岐阜関ヶ原古戦場記念館】 建設費 約52億円 年間の維持管理費 約2億円（※R4見込み）</p>	<p>管財課 観光資源活用課</p>
<p>県庁の電気が深夜まで点灯しているが、なぜそうなるのでしょうか。</p> <p>過労死ラインを超えて働いている職員もいるようですが、本来、働き方改革を率先して進めるべき県がそうした状況であることについて、理由を教えてください（コロナ以前もそうだった）。</p> <p>残業手当もバカにならないのではないのでしょうか。</p>	<p>本県の職員は、日頃から県政の各分野における重要な行政課題に対応しておりますが、近年は、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、豚熱、豪雨災害など、従来想定できなかった新たな危機事案が相次ぎ、常時対応を迫られる事態となっております。県民の皆様への安心・安全、生活を守るためには、県としてこれら喫緊の課題に迅速かつ的確に対応する必要があります。このため一部の所属・職員において、時間外勤務により対応せざるを得ない状況が生じているところです。</p> <p>本県では、限られた人員体制の中で、増大する行政需要に対応するため、事務事業の不断の見直しを進めているところであり、今後も一層の業務の効率化・合理化に取り組み、職員の時間外勤務の縮減を図ることで、働き方改革の推進に努めてまいります。</p>	<p>人事課</p>
<p>行財政改革指針の歳入確保対策（税収の確保）とあるが、森林環境税のように、一般の県税とは別に徴収されている税金もあるのだから、税収の確保はなされているのではないのでしょうか。</p> <p>森林環境税については、国にも同様の税金があることから、県税としての課税は中止すべきと思いますが、中止できないのでしょうか。</p> <p>同じ税金を徴収するのであれば、森林環境税よりも生活困窮者支援税、子育て支援税、医療支援税、介護・福祉支援税などの方が多く県民で社会を支えることになるし、関連産業従事者のためにもなり、県民の理解も得られやすいと思うのですが、森林環境税のみ徴収している理由を教えてください。</p> <p>将来増加が見込まれる社会保障関係について、岐阜県として安心できる制度に税金を払いたいと思います。</p>	<p>持続可能な財政運営を引き続き確保するため、一般会計歳入の約3割を占める県税収入を適切に確保することは重要であり、引き続きその確保に努める必要があります。</p> <p>国の「森林環境税」は、森林所有者自らによる管理が困難で市町村に管理を委託した森林を市町村が整備するための財源とされています。一方、県の「清流の国ぎふ森林・環境税」は、森林所有者自らが管理する森林を整備するための財源としており、役割が異なります。</p> <p>また、県の「清流の国ぎふ森林・環境税」は、環境部門の施策にも活用することができますが、国の「森林環境税」は環境部門の施策に活用することができません。</p> <p>これらのことから、どちらの税も、岐阜県の自然環境の保全・再生のためには必要なものと考えています。</p>	<p>税務課 森林活用推進課</p>

※担当課名については、組織改正により、令和5年4月1日現在の所属を記載しています。